

授業改善等に関する報告書（2021 年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2021（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
英語コミュニケーションⅠ	ミラー, ブルース, 富倉 教子	<p>Thank you to everyone who took the time to answer the class questionnaire. I appreciate everyone's efforts and dedication through the past year to try and create a successful learning environment, despite the continued challenges of the covid pandemic. It was fortunate that we could have classes face-to-face, so I would like to continue to increase and improve opportunities for being able to speak as actively as possible in class. Finally, I hope you will all have a safe and enjoyable spring holiday, and we will have a chance to meet again on campus in April! (:</p> <p>The comment above is written by Mr. Miller. * (上の英語のコメントはミラー先生からです。)</p> <p>皆さん 貴重なコメントをありがとうございました。 後期は感染対策に重点を置きつつ、グループでの活動も行ってもらうという主旨で、通常とは違った環境での授業でしたが、その中でも皆さんの英語学習に対する前向きな姿勢と努力、そして熱意を感じることができました。今学期を通して皆さんが触れ、考え、習得したことが今後の皆さんの更なる英語力の向上、及び今後の人生において何かお役に立つことがあるよう願います。</p>
会計学総論Ⅱ	蔭 飛鴻	<p>総合評価では全体平均の4.31に対して、この科目は4.08となっております。この点について反省し、今後、授業の進め方を改善していきたいと思っております。ご回答どうもありがとうございました。</p>
演習ⅣB	数野 昌三	<p>皆さんが頑張ってくれたおかげで、全員卒業論文を提出することができました。コロナ禍により、対面ができず、心配したこともありましたが、あっという間の2年間でした！皆さん、お疲れさん！</p>
演習Ⅰ	駒谷 真美	<p>この講義はグループワークがメインで、前半は「東京オリンピック2020の功罪」についてのディベート、後半は「学生スタッフとして品人間社会学部のメディア戦略」についてのPBLプレゼンを行った。1年生ではかなり深慮する高度な内容であったにも関わらず、自らの成長実感度は100%、授業満足度は95%を示しており、学生自身の達成感につながったと思われる。加えて、学生グループが企画したメディア戦略の一つが、2022年度に実現化することになったことから、学生たちの成果が結実できて、大変喜ばしい。</p>
英語コミュニケーションⅠ	阿佐美 敦子, ミラー, ブルース	<p>Thank you to everyone who took the time to answer the class questionnaire. I appreciate everyone's efforts and dedication through the past year to try and create a successful learning environment, despite the continued challenges of the covid pandemic. It was fortunate that we could have classes face-to-face, so I would like to continue to increase and improve opportunities for being able to speak as actively as possible in class. Finally, I hope you will all have a safe and enjoyable spring holiday, and we will have a chance to meet again on campus in April! (: (ミラー)</p> <p>今期は思いがけず長い期間、入院することになってしまい申し訳なく思っています。病院から授業を配信するという形にせざるを得ない回がしばらく続きましたが、皆さんにはご理解いただき、頑張って受講くださいました。結果として総合的な満足度は94.2%の方が良い評価をくださって、嬉しいです。ミラー先生のご尽力にも感謝いたします。次年度はさらに満足度がアップするよう努めます。(阿佐美)</p>
演習ⅣB	時田 朋子	<p>卒論の作成は根気がいる作業で大変でしたが、頑張りましたね。卒業後のご活躍を楽しみにしています。</p>
演習ⅡB	井上 綾野	<p>難しい課題に取り組んだことは、将来の就職活動に役立つと思います。今後に活かせるように頑張ってください。</p>
演習ⅡB	角本 伸晃	<p>「Q15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」で4.75の評価となり、授業意図をかなり理解してくれたようです。「Q11. この授業を通じて、自身の成長が実感できましたか？」も4.62なので、学生も成長を実感してくれているようです。</p>
演習ⅣB	高橋 美和	<p>卒論作成と個人指導がメインの1年間でした。就活もある中、皆さん本当にかんばりましたね！調査が思うように開始・実施できなくて苦しんだ方もいましたが、軌道修正しながらも、論文を完成させることができました。よかったですと思います。</p>
英語コミュニケーションⅡB	ライト, アレックス, 富倉 教子	<p>皆さん、貴重なコメントをありがとうございました。 通常とは異なる授業形態ではありましたが、その中で皆さんの英語を学ぶ姿勢と熱意を強く感じる事ができました。今学期を通して皆さんが習得されたことが今後につながることを願っています。</p>
ソーシャル・デザイン・プロジェクトA	標葉 靖子	<p>社会の課題を解決することは、誰もが主体的に取り組んでいくことのできるものです。身近なところから構いませんので、広く社会に関心を持ちながら人々と協働しながら課題解決に取り組むプロセスを今後も実践していきましょう。</p>

【2021（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
英語コミュニケーションⅡB	シオティーノ、アン、時田 朋子	後期もオンライン授業でしたが、少しでもコミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたら嬉しいです。必修の英語の授業はこれで終わりになりますが、実社会において英語はますます重要になってきます。ぜひ英語のスキルアップを目指して学び続けてください。
演習ⅣB	竹内 美香	2021年度後期は、感染者数も小康を得ている時期でした。主に前期に採集することのできたデータを解析・読み取りながら、私たちは教室で対話しながらの卒業研究の取り組みを継続することができました。対面型で卒論の演習をすることの価値を改めて痛感する期間であったと思います。演習の仲間といっしょに居られる価値というのでしょうか。 卒業研究はそれぞれが別々の課題に取り組んでいるのに、それでも仲間が近くにいる、教員が同じ教室にいて、相談できるという価値。 遠隔の技術は発達しましたが、私たちの社会がこれからどこに向かおうとしているか、何を求めているか、大きなカギを握るのが「対面する」ということなのかもしれません。 ゼミメンバーはそれぞれ着実に、タイムスケジュールを考慮して、よく努力したと思います。「自力で卒業論文を仕上げた」手ごたえや充実感を持つことができた人も多い年度となったのではないのでしょうか。 卒業し、社会人となって行くゼミ・メンバー、一人一人、どうか、気をつけて、精一杯の力で社会に貢献してください。
演習ⅣB	松浦 常夫	卒論の作成は貴重な体験だったと思います。 自分でデータ等をとって考える習慣をつけましょう。
コーチング論	谷内 篤博	かなり難しく、実践的な授業であるが、9割以上の学生が満足したということには担当者として少し安堵感がある。これもケーススタディや討論を授業に多く取り入れたことが影響していると思われる。しかし、それでも説明は分かりにくいようで、さらなる工夫が必要と思われる。
演習ⅡB	山根 純佳	授業の理解度について「どちらともいえない」との回答があったので、わかりやすい授業づくりを工夫したい
福祉社会学	山根 純佳	授業の理解度が「どちらともいえない」の回答があったのでよりわかりやすい授業づくりを心がけたい
行政法	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございました。 参考させていただきます。
演習ⅡB	竹内 美香	2021年度の後期になって、感染者数は小康を得ました。ほぼ毎回の授業を対面型で行える状況は、近年では珍しく、ホッとしました期間となりました。演習はグループワークの「実習」的側面が強いので対面型ができるのはとても有難い状況だったのです。それは皆さんご自身がよく感じているところでしょう。遠隔で協働作業をする技術も発達し、学生さんもよく習得して適応していると、頼もしい限りです。 対面で他者と意見を交わし、知識情報を共有して、共に何かを産み出す価値を、さらに感じましょう。このような社会環境は当分続くのでしょうかから、他者との交流・協働はさらにさらに貴重な価値となることと思います。 今回の演習Ⅱで皆さんと取り組んだテーマを「感染症と社会」としましたのは、状況を受動的に受け取るだけでなく、能動的に自分で情報を収集し、総合して考え、自分自身の行動を自分が決めること、そしてその成果を他者に発信して他者と共有し、新しい考えを創造することを目指したことが発端です。調べてレポートを書き、それを持ち寄り、他者と協働して発信コンテンツにまとめることは大学のゼミという場面でなければ体験しにくいことと考えています。皆さんは素晴らしいプレゼンテーションに仕上げて来ました。1つのテーマを2つの班で競合させる面白さと扱える情報が広がる利点も、実際に体験できたと思います。各回のポジティブ・シートに、そのことがよくまとめられていました。
演習ⅣB	谷内 篤博	第二の「正解のない課題」は第一課題とはかなり異なるグループ課題です。決まってきた「正解」は存在しないコンテンツで、大切なのはグループメンバーが如何に自他の考えを展開し、創造的な発信につなげることができるかです。過程が大切という課題でもあります。「正解のない課題の時は、第一課題でグループメンバー間の信頼関係が出来ていて、言いにくい意見も思い切って話せたのが、とてもよかった」という振り返りを書いている方もあり、教員もそれについては興味深く感じました。次は新しいグループメンバーが編成された状況でも自信をもって、安心して自分の言葉を発することができる心境になるまで、ご自身を訓練することなのかもしれません。 クラス全員がそれぞれの努力で大学ゼミらしい充実した取り組みにすることができました。第一課題「感染症と社会」のレポートは保存して、さらに書き足してください。まだこの感染症の問題が解決していない以上、情報は更新され続けるからです。
演習ⅣB	谷内 篤博	卒論に対しては厳しく指導をおこなったが、多くの学生が成長を実感したことは指導者としてこの上ない喜びである。さらなる質の向上を目指していきたいと考えている。

【2021（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅢB	標葉 靖子	適宜個人面談等していますので、意見・要望があればいつでも遠慮なく申し出てもらえればと思います。
社会学概論	原田 謙	皆さんの成績評価は、Bが最も多く、以降A、C、+Aの順になりました。授業のスピードや話の分かりやすさ、配布資料のわかりやすさは4.5点を超えており、比較的高評価だったようです。1年生の皆さんは、来年度以降、詳しく学びたいと思った社会学の選択科目をぜひ履修してください。
データベース基礎	竹内 光悦	おおむね好意的な意見が多くほっとしています。Accessを進め来ましたが、オンデマンドでは厳しいため、次年度以降は別のソフトを考えます。ちなみに解答例を授業動画と同時にアップしてほしいとありましたが、以前そうしていましたが、それぞれコメントが来ましたので、今の形にしています。ご容赦ください。また相互評価については、次年度以降はルーブリックを提示しようとして準備しています。少しでもつやすく、また作品も作りやすくなると思います。
演習Ⅰ	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございました。参考させていただきます。
演習Ⅰ	松浦 常夫	コロナ禍でも対面で授業ができて良かったです。
フィールドワーク論	原田 謙	アクティブ科目のため、課題も多かったのですが、授業内容と方法に関する評価は、おおむね良かったようです（総合的な満足度は4.59点）。2年生はゼミ活動、3年生は卒論で、この授業で学習した「質的分析」を活用してみてください。
演習ⅣB	山根 純佳	授業の理解度について理解度の回答にばらつきがあったので、わかりやすい授業を心がけたい
英語コミュニケーションⅠ	阿佐美 敦子, ライト, アレックス	今期は思いがけず長い期間、入院することになってしまい申し訳なく思っています。病院から授業を配信するという形にせざるを得ない回がしばらく続きましたが、皆さんにはご理解いただき、頑張って受講いただきました。結果として総合的な満足度は96.6%の方が良い評価をくださって、嬉しいです。ライト先生のご尽力にも感謝いたします。次年度はさらに満足度がアップするよう努めます。（阿佐美）
演習ⅢB	高木 裕子	アンケートへの協力ありがとうございました。今回は授業資料がよりわかりやすく、時間をかけて、その内容ができるように致します。
演習ⅣB	竹内 光悦	調査系のゼミなのに回答者がいないというのは問題ですね。一方で、このよな少数を対象とした調査自体がおかしいという指摘でしょうか？どちらにしても次回の課題にします。
演習ⅢB	高橋 美和	回答率が低かったので全体の傾向についてはコメントできません。回答してくださった方々は、全体的に満足度が高かったようですね。ほぼ全回対面実施でき、文献検索とレジュメの用意・相互質問など、基本的なゼミ・ワーク能力が向上したと思います。ブロンベン大学との交流授業も全員出席×2回が実現し、よかったです。来年度の卒業研究・論文執筆、がんばってください！
演習ⅣB	井上 綾野	コロナ禍において、直接指導できない回もありましたが卒論が無事完成できてよかったと思います。
演習ⅢB	山根 純佳	授業の理解度の回答にばらつきもあったのでわかりやすい授業作りの工夫をおこないたい
広告・PR論	井上 綾野	最後、オンデマンドになりゆっくりまとめをする時間がなかったのが残念ですが、変化の激しい広告業界に興味を持っていただけたようでよかったです。
メディア・ワークショップ	標葉 靖子	主体的な取り組みを通して、社会課題に少しでも関心を持ってもらえたらと思います。
演習ⅢB	広井 多鶴子	多くの人がさらに専門性を深めたいと答えていますね。4年生になると、いよいよ卒論を執筆しなくてはなりません。がんばってください！
演習ⅣB	蔦 飛鴻	総合評価では全体平均の4.31に対して、この科目は4.00となっております。この点について反省し、今後、授業の進め方を改善していきたいと思っております。ご回答どうもありがとうございました。

【2021（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
英語コミュニケーションⅡB	阿佐美 敦子, ライト, アレックス	今期は思いがけず長い期間、入院することになってしまい申し訳なく思っています。病院から授業を配信するという形にせざるを得ない回がしばらく続きましたが、皆さんにはご理解いただき、頑張って受講くださいました。結果として総合的な満足度は90%の方が良い評価をくださって、嬉しいです。ライト先生のご尽力にも感謝いたします。次年度はさらに満足度がアップするよう努めます。（阿佐美）
感情・人格心理学	竹内 美香	履修者が多くない科目でしたので、講義担当者が演習当番のような「立ち位置」で展開する講義となりました。履修者・回答者が少ない中で回答してくださった方には、感謝します。ありがとうございました。 内容の「理解」、科目内容の「目標一致」「講義の速さ」と「説明のわかりやすさ」「満足度」など、今年も概ね十分な評価を頂きました。 2021年度は後期に新型コロナウイルス感染症の新規感染者数も小康状態の時期が大半で、慎重な対策は続けましたが、対面型で実施することができました。対面型では履修者の熱意を直接に感じる事が出来て、改めて通学課程で「一緒に学ぶ」価値を再認識することができました。 内容としてはこの分野の専門的な内容を取り上げ、時には心理学専攻の大学院並みの内容も扱いました。それは予告通りですが、提出されるワークシートに書かれる皆さんのさらなる学びを見ながら、周辺的な話題や情報を提供するように努めました。提出されるショートレポートは、決してショートではないものも多く、担当者はいつも励まされていました。 「感情・人格心理学」は概念的定義、理論的理解の変遷、文化と発達、コミュニケーション、生理学的機序など、扱うべき内容も広範囲にわたります。この授業でお伝えしたことが、これからの「入口」になるとしたら、担当者は嬉しく思います。さらに学びましょう。
演習ⅢB	吉田 雅彦	仲良く勉強することができました。
演習Ⅰ	神山 静香	すべての項目で肯定的な評価をいただき、ありがとうございました。自由記述では、「配付資料が多く、毎回授業の際に見やすく、とても良かった」、「詳しく説明してくれて、毎回理解しやすかった。ディベートやプレゼンのときなど、困ったらうまくアシストしてもらって、助かった」、「プレゼンやディベートに対する苦手意識がほとんどなくなった」という意見をいただきました。 一方、「毎回スライドが多く目を通すのが大変だった。対面での説明も少し多いように感じた」という意見もありましたので、大学での学びに必要なアカデミックスキルを修得する授業として、よりわかりやすい説明を心掛けていきたいと思えます。
英語コミュニケーションⅡB	阿佐美 敦子, マルチェフ, ミレン・アンゲロフ	今期は思いがけず長い期間、入院することになってしまい申し訳なく思っています。病院から授業を配信するという形にせざるを得ない回がしばらく続きましたが、皆さんにはご理解いただき、頑張って受講くださいました。結果として93.7%の方がこの授業を通じて自身の成長を実感できたと回答くださって、嬉しいです。マルチェフ先生のご尽力にも感謝いたします。次年度はさらに満足度がアップするよう努めます。（阿佐美）
演習ⅢB	阿佐美 敦子	今期は思いがけず長い期間、入院することになってしまい申し訳なく思っています。病院から双方向授業をするという形にせざるを得ない回がしばらく続きましたが、皆さんにはご理解いただき、頑張って受講くださいました。学期を通じて、ゼミ生の皆さんは本当によく頑張ってくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。チームワークも抜群でした。結果として総合的な満足度は100%の方が最も良い評価をくださって、嬉しいです（回答者数が少なかったのが残念でしたが）。ゼミ生たちと交流くださった外国人ゲストの方々のご尽力にも感謝いたします。次年度はさらに満足度がアップするよう努めます。
家族法	数野 昌三	2021年度「家族法」は、前半と最終がZoomとなりました。試験も対面からレポート試験となり、文字制限は多いものの、テーマとしては記しやすかったと思います。 ところで、家族法に関し夫婦（婚姻・離婚）、親子（実子・養子）、相続（法定相続・遺言）について、改正法および判例を含め学び、一層身近な法律であり、重要であることを理解できたと思います。 まだまだ身近な問題として考えることは難しいと感じる学生がいらっしゃるかとも思いますが、必ずしや巡って来る問題ですので、各自、理解しやすい書物を手に取り、勉強を継続していきましょう。なお、法制審議会は、女性の再婚禁止期間撤廃を2022年2月1日打ち出しました。
フィールドワーク論	高橋 美和	どの項目もおおむね平均を上回っていましたので、まずまずだったのかなと判断しております。観察課題や街歩き課題、さらにインタビュー課題と、グループワークもあり、なかなかたいへんな内容だったと思いますが、コメントを読みますと、学びの課程を楽しんでいた様子、また、また困難だったことも今後の糧になるような学びだった様子がわかり、嬉しく思いました。
演習ⅢB	蔦 飛鴻	全体科目平均の4.34に対してこの科目の平均が4.50となっています。今後も学生にとってわかりやすい授業を行うよう努めていきたいと思えます。
演習ⅡB	広井 多鶴子	急遽、渋谷区との連携という授業の展開になったため、スケジュールが定まらず混乱がありました。今後の反省点にしたいと思います。

【2021（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
英語コミュニケーションⅠ	阿佐美 敦子, シオティエノ, アン	今期は思いがけず長い期間、入院することになってしまい申し訳なく思っています。病院から授業を配信するという形にせざるを得ない回がしばらく続きましたが、皆さんにはご理解いただき、頑張って受講くださいました。結果として総合的な満足度は100%の方が良い評価をくださって、嬉しいです。シオティエノ先生のご尽力にも感謝いたします。次年度はさらに満足度がアップするよう努めます。(阿佐美)
多文化社会論	高橋 美和	皆さんからのコメントでは成長実感が伝わってきましたが、アンケート結果のグラフを見ると、そうでもありませんでした。説明の分かりやすさという点で若干平均を下回っているのも、そこが原因だったかもしれません。授業後課題のフィードバックが不十分だったという指摘がありましたので、翌週のフォローが若干足りなかった週があったようで、その点お詫び申し上げます。パワーポイント資料がわかりやすかったというコメントはありました。
演習ⅢB	駒谷 真美	駒谷ゼミでは、ゼミ生自身が、個人の卒論では真摯にテーマに取り組み、文献やアンケート調査を実施し、研究の手ごたえを掴んでいた。加えてゼミ全体の活動として大学公認ラジオ番組「渋谷のJJラジオ」で月一回番組のメインパーソナリティとして企画・取材・発信・放送まで成し遂げた達成感があったと考える。それが、高い自己達成感・自己評価・授業満足度につながっていると推察する。
リーダーシップ開発A	標葉 靖子	本授業で学びは、みなさん自身の日常のなかで繰り返し実践していきこそ大きな力になっていくものです。多様なリーダーシップの発揮のあり方がありますので、臨機応変に今後も省察的実践を続けていってもらえればと思います。皆さんの今後のますますの成長を期待しています。
社会と統計	竹内 光悦	おおむね好意的な意見でよかったです。オンデマンドと対面はどちらとも利点と欠点がありの意見でしたが、たとえオンデマンドでも質問には随時回答していきますので、気軽に聞いてください。興味を持ってくれた人も多かったですので、ちょっと安心しました。
演習ⅣB	粟津 俊二	セクションⅡの評定値は全て4.5以上ですので、基本的には授業方法に問題は無いと考えます。卒論に取り組んでいただきましたが、楽しめたでしょうか？調べていて楽しい、もう少し知りたいと思えることがあったなら、卒論としては大成功だと思います。
心理学統計法	粟津 俊二	全項目（学生自身の自己採点除く）の平均値が4.0程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。なかなかヘビーな課題をしてもらいましたので、平均学習時間もそれなりに長くなっています。皆さん、なかなか頑張ったと思います。
演習ⅣB	高木 裕子	4年間、本当によくやってくれました。ありがとうございます。
演習ⅣB	広井 多鶴子	卒業論文、みなさんととてもよく頑張ったと思います。
英語コミュニケーションⅠ	グティエレス, ティモシー, 時田 朋子	後期は対面授業となりました。コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたなら嬉しいです。英語のスキルアップを目指して2年時の授業も頑張りましょう。
演習ⅢB	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございました。参考させていただきます。
異文化理解	阿佐美 敦子, 時田 朋子	対面での授業は、皆さんの反応もよくわかり、楽しい時間でした。グローバル化が進む現在、異文化を理解する力はますます重要となってきます。今回の授業で学んだ視点をぜひ生かして、異文化に関わってってください。(時田) 「この授業を通じて、自身の成長が実感できましたか？」という問に対して、とてもよくあてはまると回答した方が61.8%、どちらかといえばあてはまると回答した方が35.3%もいらして、とても嬉しく思いました。総合的な満足度も82.4%の方が一番高い評価をくださいました。来年度もさらに授業内容、展開の工夫に努め、より魅力あるものにしていきたいと思えます。(阿佐美)
言語コミュニケーション開発支援論	高木 裕子	コロナ禍での授業形態の変更もあり、その都度、対応をお願いしましたが、対面授業での皆様のご発言やその内容はとても意味ある、有意義なものでした。来年度はよりコミュニケーション学に興味を持ち、実践的に使って頂けるように、授業内容をアップして参ります。

[2021 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
会社法	神山 静香	<p>すべての項目で「とてもよくあてはまる」との回答が最も多くありました。ありがとうございました。</p> <p>自由記述には、「オンデマンドでも対面でもわかりやすい講義だと思った」、「会社法の知識はもちろん、日本経済の現状や、これからどうしていくべきかなど真剣に考え向き合える良い時間だった」、「授業を受けて、コーポレートガバナンスや持株会社、株式会社、株主、法人、組織再編などについて深く学ぶことができたので良かった」、「資料がとても読みやすく、問題形式になっているのがとても良かった」、「会社の仕組みを法律の視点で考える力がついた」、「現状の課題を見つけ、自分自身で考える力がみについた」などのコメントをいただきました。ありがとうございました。</p> <p>次年度も履修者の皆さんにとってわかりやすい授業を実施するよう心掛けていきたいです。また、ビジネスの世界で起きている最新の事例を取り入れ、履修者の皆さんが将来のキャリアを考える上で必要な知識を修得し、考える力を磨くことができるような授業を実施するよう精一杯取り組んでいきたいです。</p>
社会調査方法論	原田 謙	<p>授業のスピードや分かりやすさの評価は4.6点を超えており、比較的高評価でした。来年度は、学生の理解度を確保する仕掛けを増やしたいです。授業で習った調査方法を、ゼミ論文や卒業論文で活用してください。</p>
心理演習	栗津 俊二, 加藤 典子	<p>回答者数0ですので、コメントはできません (栗津)</p>
心理的アセスメント	佐藤 恵美	<p>今年もオンデマンドになってしまい、申し訳ございません。この授業は専門科目なので、ビデオや心理検査などをもっと使用したかったです。資料をよく見て、試験を受けていただき、本当にありがとうございました。</p>
演習ⅢB	谷内 篤博	<p>ゼミの満足度が4.5とパーフェクトでないのは残念であるが、一部、満足していない学生もいるようである。今年はゼミがやるテーマにより分かれたことが大きな要因と思われる。次年度はパーフェクトを目指したい。</p>
演習ⅣB	駒谷 真美	<p>授業アンケート回答率が33% (12人中4人が回答) であつたため、統計的言及は行えない。しかし、回答してくれた4年生は、高い自己成長度・専門学修意欲度・自己評価度・授業満足度を示してくれたことは、大変有難い。</p>
演習ⅣB	角本 伸晃	<p>「Q15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」で4.80の評価となり、卒業指導にかなり満足してくれたようです。この学年はコロナ禍が2年続いたために、対面でのゼミ活動があまりできなくて申し訳なく思います。</p>
経済学概論	角本 伸晃	<p>経済学概論の内容は数式や計算問題が出てくるので、毎年、厳しい評価となります。今年にはさらにコロナ禍でZoomによる授業でしたが、Q15では3.93の評価でした。今年の授業で計算問題ができない原因が、①四則計算の計算順序がわからない、②/記号が割り算の意味と知らない、などである学生がいました。経済学の問題が難しい前に、現代生活を送る上で最低限必要なスキルなので、来年度の授業では計算問題の前に、これらの点を説明しておきたいです。</p>
演習Ⅰ	角本 伸晃	<p>「Q15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」で4.43の評価となり、教員側の授業目的がかなり達成されたと言えますが、「Q14. あなたがこの授業で自分に成績をつけるとしたら、成績評価は何ですか?」では、4.00と相対的に低いので、もう少し自信を持っていいと思います。コロナ禍で自己肯定感を持ちにくいのでしょうか?</p>
演習ⅢB	井上 綾野	<p>コロナ禍という制約のある中でいろいろな活動ができたことはとてもよかったと思います。</p>
演習ⅢB	竹内 光悦	<p>おつかれさまでした。回答者が少ないので残念ですが、やはりゼミは対面がいいですね。次年度は卒業研究ですね。楽しみながら進めましょう。</p>
演習ⅡB	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございました。参考させていただきます。</p>
法律学	数野 昌三	<p>2021年度後期「法律学」は、Zoom授業を実施しました。パソコンを見ながら一方的に進行していくため、理解しにくかった点もあったかと思えます。しかし、授業アンケートを見ると、何回も自分のペースで学習することができ良かったという意見が多く見受けられました。また、担当者としても受講生から質問があった場合、直ぐに回答するように心掛けました。</p> <p>法律は難しいというイメージが付きまといますが、日常生活上必須の存在として今後も法律科目を受講していくことが大切だと思います。</p>
演習Ⅰ	蔦 飛鴻	<p>総合評価では全体平均の4.31に対して、この科目は4.12となっております。この点について反省し、今後、授業の進め方を改善していきたいです。ご回答どうもありがとうございました。</p>

【2021（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
現代日本経済論	角本 伸晃	「Q15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」は3.89と経済学概論よりも低い評価でした。昨年度は4.47だったので、かなりの低下です。授業内容を難しくしたわけではないので、その原因の1つに、対面授業であったが、ソーシャルディスタンスを保つために、操作盤のまえからほとんど離れなかったことが考えられます。次年度は、わかりやすい解説を心がけたいと思います。
演習ⅡB	数野 昌三	2021年度「演習ⅡB」では、班分けし、メンバーで話し合い、テーマを設定、問題点を把握、諸問題解決への基準を調査・検討することにより解決策へと導く。そのプレゼンの中で、レジュメ&パワポを使用し、発表者は当然のこととして、ゼミ員全員に理解しやすいプレゼンを目指しました。今後は、各専門ゼミにおいて羽ばたいて下さい。期待しています。
演習ⅢB	角本 伸晃	「Q15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」で5.00の評価となり、教員としてはうれしい限りですが、回答者が3人なので割り引く必要があります（授業中に何回かアンケートに回答するように指示したのですが・・・）。Q11とQ13も5.00なので、回答してくれた学生は成長を実感してくれているようです。
演習ⅡB	原田 謙	授業の内容と方法に関する評価は、すべて4.5点を超えており、総合評価も4.73点と比較的高評価でした。とくに、レジュメの作成やプレゼン方法など「自分の成長」を実感してくれたようです。また対面でのディベートも新鮮だったようです。ぜひ学んだ方法を、他の授業でも活かしてください。
演習ⅢB	時田 朋子	後期はプロジェクトを中心とした授業でした。楽しくも大変だったかと思いますが、大きく成長できたと思います。4年生での卒論も頑張りましょう。
コミュニケーション概論	高木 裕子	コロナ禍で授業形態の変更が一部ありましたが、基本対面で行えたことはよかったですと思っています。また、授業後のご質問もご相談も直接行えたことは対面の良さでしょう。今回の評価を受け、よりわかりやすい授業内容の工夫をしていきます。本授業前後での他の授業での課題の多さは理解しておりますので、ご自身の課題等管理はうまくしてください。
国際ビジネスと法	神山 静香	すべての項目で肯定的な評価をいただきました。ありがとうございます。対面授業とオンデマンド型の授業が混在したため、説明が不十分な点もあったと思いますが、オンデマンド型・対面にかかわらず、わかりやすい説明を心掛け、ビジネスに携わる際に必須となる実践的な法律知識を修得できるような授業を実施するよう心掛けていきたいと思っています。
演習ⅣB	神山 静香	改善すべき点は改善し、次年度に活かしたいと思います。理論的な知識を修得しながら、修得した知識を実践の場で活用できるよう指導していきたいと思っています。コミュニケーションを密にとり、一人ひとりが目標を達成できるようサポートしながらゼミを実施していきたいと思っています。
ジェンダーの人類学	高橋 美和	課題多めの授業でしたが、ジェンダーへの関心の高い履修者の方が多く、皆さんよくついてきてくださいました。授業の内容・方法はほぼ平均値であり、問題無かったと思いますが、満足度と成績自己評価が若干低かったことからみると、提出・発表課題が少々難しかったということかもしれません。
演習ⅡB	標葉 靖子	「生命倫理」という学術分野の入門書をしっかりと講読し、さらにその学びを生かして自分たちで啓発メディアの制作に挑む内容であり、かなり濃い内容の授業だったと思います。本授業を通して体験してもらった、学術的なインプットとそれをアウトプットにつなげていくプロセスを今後の学修にも活かして行ってください。
演習ⅣB	標葉 靖子	適宜個人面談等の中でフィードバック対応しています。

【2021（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
健康・医療心理学	竹内 美香	<p>「健康・医療心理学」では青年期の「自己開発」途上にある皆さんが、これからの生涯をどのように生きるか・人を愛して・自身の人生を満足して過ごすこと、WHOの健康の定義における「well-being」をその時、その時、どのように実現するか、しかもそれを自分の力で……。そのことについて、一緒に考えてきました。</p> <p>2021年度は後期に少し感染症新規感染者数の観測が小康を得ていたため、すべての授業を対面型で尾身なうことが出来ました。感染症対策に気を遣うのは継続していましたが、やはりどこか息つく気持ちを持つ時期となり、教室も学びのためのよい環境であったと思います。学生さんと同じ空間を共有して共に学ぶ貴重さを感じ共に痛感しました。授業は計画したコンテンツだけでなく、受講生から提出されるワークシートから題材として展開することもあり、本来の大学らしい学習ができたと思っています。資料配布は授業プラットフォームmanabaで効率よく実現できました。受講者の皆さんが配布資料受信と課題提出の電子環境によく適応した成果です。毎回提出されるシートの内容は充分で、ショートレポートとして価値が高いものが出ていました。</p> <p>2021年度も産婦人科専門医の先生をゲストにお招きすることができました。受講生からも多くの質問や感想が特別講師の先生に投げかけられました。女性の心身の健康と発達という主題に対する関心の高さを確認した教員でした。</p> <p>今回、回答してくださった学生諸姉には心から感謝いたします。回答者のほとんどが、ほぼ「この授業に満足した」と答えています。今回も、どうか責任が果たせたかと、安堵しています。</p>
社会文化事業論	高木 裕子	<p>コロナ禍での授業形態の変更やその渦中にある社会調査の実施でしたが、課題を拝見し、どれも頑張ったと思えるものでした。中には素晴らしいと感じ、感動もしました。社会調査を単に授業で行ったということだけでなく、私達が日々接している周囲の方々からこのような貴重な体験のお話が伺えること、社会調査はこのようにも使えることわかって頂けたら、きっとより身近なものになると思っています。今回は対面で、より充実した内容にするように努力します。</p>
心理学概論	松浦 常夫	<p>2年からは心理学系の授業が増えてきます。心理学概論に興味を持った分野の専門科目を取りましょう。</p>
心理学実験Ⅱ	栗津 俊二	<p>全項目の平均値が4.0程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。なかなかヘビーな課題をしてもらいましたので、平均学習時間もそれなりに長くなっています。皆さん、よく頑張りました。</p>
精神疾患とその治療	塩川 宏郷	<p>本講座は公認心理師国家試験の出題範囲に含まれる科目のため、内容的には比較的高度なものになりました。対面であればさらに症例の検討など具体的な部分に踏み込んだ内容も今後考慮していきます。</p>
英語コミュニケーションⅠ	マルチェフ、ミレン・アンゲロフ、時田	<p>後期は対面授業となりました。コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたら嬉しいです。英語のスキルアップを目指して2年時の授業も頑張ります。</p>
演習ⅡB	神山 静香	<p>全ての項目で「とてもよくあてはまる」という回答が最も多くありました。肯定的な評価をいただきありがとうございます。自由記述には、「卒論を書く上での、論理的な考え方が身についた」、「グループワークの活動も多くみんなで課題に取り組む力がついた」、「ディベートを行った後にもう一度プレゼンを行ったので調べ方やどうしたらデータに基づいた意見を述べられるかを学ぶことができた」、「ディベートなど行って問題についてどんな課題があるのかをチームで協力して発見する力がついた」、「一つの議題に対して多面的に物事を考える力が身についた」との意見がありました。いただいた意見をもとに、わかりやすい授業を心掛けていきたいと思います。</p>
国際企業論	吉田 雅彦	<p>授業方法としては、グループワークがあったので、対面の方がやりやすかったです。という意見がありました。</p> <p>実際の企業を例に挙げて、マトリクスやグローバル進出について分析したため、論理的思考が身についたと思う。国際企業のシステムなどの理解を深めることができた。会社の経営に関する知識や企業について理解が深まった。という意見がありました。</p> <p>難しい内容ですが、理解してもらって良かったです。</p>
メディア心理学	駒谷 真実	<p>コロナ禍の感染状況に応じて対面とZoomで講義を行ったが、学生たちには戸惑いがあったと思う。しかし、全項目において、全体平均と当該区分平均を大きく上回る評価がされており、大変嬉しく思っている。何より積極的に学ぼうとする姿勢は、対面でもZOOMでも十分伝わってきた。学生の95%が自身の成長を実感し、100%が講義に満足していると結果として表出しており、大変嬉しい。</p>
簿記論Ⅱ	蔭 飛鴻	<p>全体科目平均の4.34に対してこの科目の平均が4.47となっています。今後も学生にとってわかりやすい授業を行うよう努めていきたいと思います。</p>

【2021（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
応用心理学	松浦 常夫	manabaの授業で対面ではありませんでしたが皆さんの学習が進んだと思います。
演習ⅢB	竹内 美香	<p>2021年度後期になって、感染症は少しだけ小康状態になりました。そのおかげで、お互いに直接いろいろなことを確認できる対面型演習を続けることが出来ました。（しかし、これを書いている現在は、未曾有の新規感染者数を連日更新するという新しい波に翻弄されています。しばらくこのような状態が繰り返されるのでしょうか。）感染症対策下の大学での学びが模索されています。学生さんはメディア関連のスキルを毎日更新することとなり、苦労も多いかもしれませんが、教員からは頼もしい限りと見えます。</p> <p>この調査では、回答者が少ないのが残念です。ご自分もこれから卒業研究のために誰かに回答協力をお願いするのです。それを想えば、授業アンケートも「適当に」しない方がよいでしょう。</p> <p>後期の学術論文抄読は例年と遜色なく、各自が十分に準備して、よい内容でした。当ゼミは心理学を中心に学びます。先行論文からは、調査データの採集と解析・理解するまでの仮説演繹法モデルを経験して頂きました。論文講読によって取り入れて欲しいのは以下です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究仮説は架空の疑問ではなく、先行的研究的論争を辿る中から抽出するべきものであり、 ・仮説を科学的手法で正しく独立変数と従属変数を定めて検証する測標を準備し、 ・追認可能を保証する手法でデータを採り、 ・独立変数と従属変数の説明モデルに基づく解析と考察・評価を行うこと <p>3年生の後期末の時点では、このことはまだまだ浸透していないようです。既存の学術論文を卒業研究の「お手本」として収集し、さらに読むようにしてください。</p> <p>2022年度も学びを続けましょう。</p>
演習Ⅰ	竹内 光悦	おつかれさまでした。企業提案はいかがでしたか？おむね好意的な意見が多くよかったですと思います。課題の平等性に関しては、会社に入っても同様のことが起きるので、自らもいえるようになることも大切です。もちろん厳しいときはサポートしますので言ってください。2年生になっても頑張りましょう。
演習ⅣB	阿佐美 敦子	<p>今期は思いがけず長い期間、入院することになってしまい申し訳なく思っています。卒論提出を前に、皆で議論することができず、病室にいる私のやりとりのみで進めるという形にせざるを得ない回がしばらく続きましたが、皆さんにはご理解いただき、頑張って卒論に取り組んでくださいました。皆さんが私の期待に応えてくださり、立派な卒論を書くことができて、感謝の気持ちでいっぱいです。結果として総合的な満足度は100%の方が良い評価をくださって、嬉しいです（回答者が少なかったのが残念でしたが）。次年度はさらに充実した卒論ゼミを展開できるよう努めます。</p>
演習ⅢB	粟津 俊二	<p>全項目の平均値が4.0程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。Q13「この科目をさらに専門的に学びたいを思いましたか？」の平均値が4.0なのが少し残念ですが、卒論のテーマを考えてもらっていたので、悩んでいるということかな、と思っています。</p>
現代企業論	吉田 雅彦	<p>授業方法では、対面が良いという意見と、教科書があるので、zoomなどの双方向型で十分だという意見がありました。</p> <p>教科書で授業するだけではなく、グループワークで他の人の意見を聞くことができたのが良かった。という意見もありましたので、グループワークを増やしたいと思います。</p> <p>企業研究の仕方を学べた。 業界研究、企業研究について理解が深まった。 工業技術の基礎的な知識を身につけることができた。 企業研究の仕方など、これから就職活動をしていくにあたって自分のためになることを学ぶことができた。 企業研究の仕方が身についた。 色々な職種について理解が深まりました。 経営学について学んだことで企業について詳しく知るきっかけになった。 企業を検索して、詳細について調べる力がついたと思う。 企業研究の方法を学び、今まで知らなかった業界への興味がわいた。説明もとてもわかりやすかった。</p> <p>この授業を受けて、業界の幅が広がったため良かった。さまざまな業界について知ることでも今までは全く気にしていなかった業界や企業に興味を持ってたため就職活動で活かして行きたいと思う。 技術について知れたので良かったです。 自分の知らない業界について知る機会があったことで確実に視野が広がったと感じる。 企業や業界を研究するよい機会となる授業でした。 文系だからこそ初めて学ぶ点が多く面白かったです。 就職活動を控えて、まだまだ知識が足りない中、幅広く企業について知ることができて、前向きに就職を考えられるようになったことがよかったです。 就職活動するにあたって何に興味があるのか考えさせる授業だった。</p> <p>という意見をいただきました。授業の狙いを理解していただけて良かったです。</p>

【2021（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
英語コミュニケーションⅡB	ミラー、ブルース、時田 朋子	Thank you to those of you who took the time to answer the class questionnaire. I appreciate everyone's efforts and dedication through the past year to try and create a successful learning environment, despite the continued challenges of having online lessons. I hope you will have a safe and enjoyable spring holiday, and I wish you all the best with your future plans and endeavors.
演習ⅢB	原田 謙	総合評価は4.8を超えていました。 個別テーマ報告もPBLも、皆さん良く頑張りました。 卒論の準備もよろしくお願ひします。
ジェンダー論	山根 純佳	授業の理解度についての回答にばらつきがあったので、わかりやすい授業づくりを工夫したい
演習ⅢB	神山 静香	すべての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。 自由記述では、「新しいことに挑戦し、全く知らなかった知識を取り入れて仲間と協力したことで、協調性も高まり、株式や投資への理解に加え、業界研究の一つとして活用する事ができた」、「発表や日経ストックリーグを通して、自ら課題を発見してまとめる力がついた」、「バーチャル投資など初めて経験することが多くて、大変だったが楽しみながら行うことができた」という意見をいただき、とても嬉しく思いました。一人ひとりの自発的な興味に基づく取り組みをサポートできるように、コミュニケーションを密にとりながら、ゼミを実施していきたいと思ひます。
演習ⅣB	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございました。 参考させていただきます。
演習Ⅰ	井上 綾野	難しい課題に取り組んだことは、将来の就職活動に役立つと思ひます。今後に活かせるように頑張ってください。
社会と統計	竹内 光悦	全体的には好意的な評価でしたのでよかったですと思ひます。特に統計に興味を持ったというコメントもあり、うれしく思ひます。授業中も伝えたように、統計はこれから先の社会では自身の理論武装でなくてはならないものです。苦手な人は毎年いますが、それでも不可欠なものですので、不明点についてはいつでも聞いてください。
キャリア・マネジメント論	谷内 篤博	説明が難しく感じられたようで、次年度以降は分かりやすい授業を心掛けたい。満足度や成長実感もさらなる向上に向けて次年度以降は頑張りたいと考えている。アンケートを活用して学生の疑問点も拾っていききたい。
演習Ⅰ	原田 謙	授業の内容と方法に関する評価は、すべて4.5点を超えており、総合評価も4.64点と比較的高評価でした。とくに、レジュメの作成やプレゼンなどで「自分の成長」を実感してくれたようです。またディベートも新鮮だったようです。ぜひ学んだ方法を、他の授業でも活かしてください。
人間教育学概論	広井 多鶴子	「自分の固定観念に気が付いた」「新たな見方ができるようになった」といった感想が寄せられていたのはとても嬉しく思ひました。一方で、「難しかった」という声もあったので、資料を工夫したいと思ひます。
演習ⅢB	数野 昌三	2021年度「演習ⅢB」アンケート回答者が4名のみ。皆さんの声が聞きたかったです。アツという間に今年度1年が過ぎ、最終学年はより一層短く感じると思ひます。就活もすでにスタート、検定試験の勉強に加え、卒業論文作成もあり、早期から計画を立て、健康に十分注意して進めていきましょう！
演習Ⅰ	数野 昌三	2021年度「演習Ⅰ」では、班分けし、メンバーで話し合い、テーマを設定、問題点を発見し、諸問題解決への基準を調査、比較検討することにより解決策へと導く。そのプレゼンの中でレジュメ&パワポを使用し、ゼミ員全員に理解してもらおうという作業を実施しました。発表回数も各班4回。つらかった時期もあったかと思ひますが、本演習において努力した学生は、その努力が必ず上級学年において役立つことを願っています。
社会調査実習Ⅱ	竹内 光悦	1年間、お疲れさまでした。調査実習は長く、大変とは思ひますが、いろいろな面で力がついただと思ひます。感想を見てもよかったですと思ひます。次は卒論ですが、引き続き、頑張らしましう。
英語コミュニケーションⅡB	ミラー、ブルース、内田 里美	Thank you to those of you who took the time to answer the class questionnaire. I appreciate everyone's efforts and dedication through the past year to try and create a successful learning environment, despite the continued challenges of having online lessons. I hope you will have a safe and enjoyable spring holiday, and I wish you all the best with your future plans and endeavors.
演習ⅣB	吉田 雅彦	就活、卒論お疲れさまでした。

【2021（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅣB	原田 謙	ゼミ合宿が開催できなかったのは残念でしたが、皆さん、とても良い卒論を仕上げました！
原価計算論	蔣 飛鴻	総合評価では全体平均の4.31に対して、この科目は4.29となっております。この点について反省し、今後、授業の進め方を改善していきたいと思っております。ご回答どうもありがとうございました。
人体の構造と機能及び疾病	塩川 宏郷	全編オンデマンド授業だったため、解剖学的な部分は著作権の関係から図譜を閲覧できませんでした。履修生のみなさんはよくフォローしてくれたと思います。インターネット上のサイトを紹介するなど自主学習のための資料を今後検討していきます。また、疾病の病態生理については対面での説明が必要と思われる部分も多いので今後改善します。
演習ⅢB	松浦 常夫	いよいよ4月からは4年生です。卒論に向けてがんばりましょう。
国際経済論	吉田 雅彦	レスポンス等で質問が気軽にでき、授業時間内でわからないことを理解できた。最初はレスポンスの回数が多いと感じたが、何回かに分けてレスポンスをすることで自分がどこを理解できて理解できていないのかが分かったのが良かった。というコメントをいただきました。 覚えることが多いので、レスポンスでの確認は続けていこうと思います。 国際的な経済についての理解が深まった。 経済学の知識についての理解が深まった。 経済について書かれている新聞に対して関心が大きくなった。 世の中で起こっていた事件について知ることができ理解が深まりました。 解読する力が身につきました。 新聞記事を読んで要約する力が身についた。 というコメントをいただきました。 日経新聞を読むようになるという目標はハードルが高いですが、教材や授業方法をこれから練っていきます。 お疲れさまでした。
メディア表現	駒谷 真美	この講義では、毎回履修生がメディアテキストを制作している。本年度は、人間社会学部公式YouTubeチャンネル用の動画制作に挑戦した。履修生は、動画クリエイターの特別講座を受けてから、企画段階か方向性を検討し、中間合評会・最終合評会を経て完成まで、最先端のメディアを駆使し、積極的に課題に取り組んでいた。授業アンケートは、回答率が47%のため統計的な分析は避けるが、それでも回答者9人全員が自己成長実感度と専門的学習意欲、8人が自己評価と満足度を高く評価してくれたことは、大変喜ばしい。
消費者心理学	井上 綾野	オンデマンドで分かりにくくも思ったかと思いますが、レポートはとてもよく書けていました。これを機に消費者に興味を持ってもらえると嬉しいです。